

こんにちは

NO. 8

日本の学童ほいくニュース

です

2005, 11月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10
TEL 5951-2789 FAX 5951-2795
URL: <http://www.gakuho-tokyo.jp> E-mail: gakuho@a.toshima.ne.jp

11月号の特集は「育ちあう指導員仲間」です。悩み、疑問、不満、不安、喜び、意欲、悲しみ、怒りを抱えながら仕事をしているのに、それらを話し、交流する場が皆さんにはありますか？子どもたちが安心して帰ってこられる学童保育にするためにも、指導員が働き続けられるようにするためにも、支えあい、励ましあい、学びあう指導員仲間が大切です。

今月号の一押し

その1

勉強がおもしろいと思うとき

大阪市立か噴屋小学校教諭 土佐いく子
「知りたい、わかりたい、かしくなりたいことがと好奇心を輝かせている子どもたちに『勉強っておもしろいなあ』という思いを少しでも届けてやれたらと思っています。」と、土佐先生は言います。子どもたちが「勉強っておもしろいなあ」って思えたら、何で学校は楽しいところになることでしょうか！！青山君の発言をきっかけに「人間の命やろ、そんなたいたい何人とか言うたらあかん。」「つけたして約40人とか言うたら、心配する人が増えてしまうからあかん。」と、自分たちの考えを出し合う子どもたち、浄水場の見学をした後、公園の盛り土のところで、互いに役割分担をしながら自分たちの浄水場を作り上げた子どもたち.....土佐先生のクラスには学ぶことの楽しさがいっぱい詰まっているようです。



11月号の特集

育ちあう指導員仲間

「指導員仲間をめぐる現状と課題」

本誌編集部

「仲間とともに知識を育む」

松江市中央児童クラブ指導員 林妙香

「指導員も「異年齢集団」で育ちあう」

吹田市山田第二小学校すぎのこ学級指導員 神山よしえ

「すべての学童保育がハッピーになるために」

伊勢崎市もろ学童クラブ指導員 横堀しょうい

「いつかは夢の一つに」

豊見市長嶺学童げんきクラブ指導員 金城文字

「指導員仲間からの私を励まし、大きな支えとなった一言」

「学童保育のやさしさにつつまれて」

札幌市共同学童保育所山の手みなみクラブ保護者
林亜紀子

「娘の成長を日々感じて」

徳島市加茂名小学校PTA学童保育会保護 浜條敦代

「やめよう」と思ったけれど..」

須坂市どんぐりクラブ保護者 金澤九子

今月の都連協人

今週も都連協人はありません。ただし、「食物アレルギー」の問題で文京区森こどもクリニック院長の森蘭子先生が原稿を寄せています。

来月号こそは..



ほいくニュース
について

ほいく誌の感想、このニュースへの意見、いろいろお寄せください。
作り手も募集しています。

今月号の一押しその2

その1

学童保育への道

鈴鹿市かんたろう学童保育所 江本富貴
指導歴3年目の江本さんは「自分のように『指導員になりたい』と思っただけでも正規で指導員になれるのは「ごく稀で、働き続けることがなかなかむずかしい状況にある」と語っています。本当にその通り。学童保育の指導員の仕事は、子どもと遊ぶだけでなく、学童保育の役割の深さや責任の重さが伴うものであるけれども、それ以上の感動や魅力にあふれているととてもやりがいのある仕事です。指導員を目指す若者たちがたくさんいるのに、一生の仕事として長く勤められない未来ではやっぱりいけないと思う。学童保育を、そして子どもたちを愛する仲間たちがずっと働き続けられるよう、皆さん手をつないでいきましょう!!

その2

「講座 若者たちの『今』を知る2」

「自分らしさ」を選ぶー消費の中の自己表現

横浜私立大学 中西新太郎

奇抜な衣装、だらしなく地べたに座り込む、周りの様子を気にしない自分勝手な行動..表面上に映る少年少女たちの姿のその内面には意外なしんどさを抱えていたのです。「個性」をモニターされている苦しさ..なんて気が付きもしなかった。「本当のわたしをみて」「本当のわたしをみないで」両方の願いを込めたメッセージの発信 講座が進むごとに浮き彫りになる少年少女たちの内面。次回もじっくりと受けとめていきたいです。



次号予告 12月号

特集・子どもにやさしい施設

- ・子どもにとって優しい施設とは 原泰子
- ・地域の改善運動の報告
- ・こんな学童保育がいっぱい

ずいそう

山口のり子

講座・若者たちの「今」を知る

中西新太郎

子どもたちのまなざし

土佐いく子

試せばハマる家事のワザ

佐光紀子

カメラでこんにちは/父母会/子育て日記/わたしは指導員/たのしいな/クイズ/まんが/子どものひろば/読者のひろば/ほか